平成26年3月期　第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上 場 会 社 名　　株式会社クレハ　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　4023　　URL http://www.kureha.co.jp/
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 小林　豊
問合せ先責任者　(役職名) 広報・IR部長　(氏名) 数井　明生　(TEL) 03-3249-4651

四半期報告書提出予定日　平成25年11月14日　配当支払開始予定日　平成25年12月3日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	67,723	6.3	4,850	1.5	5,258	41.6	3,504	57.7
25年3月期第2四半期	63,718	8.3	4,780	13.4	3,713	△6.2	2,222	―

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期　7,522百万円(554.0%)　25年3月期第2四半期　1,150百万円(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	20.40	16.96
25年3月期第2四半期	12.95	12.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	212,803	102,707	47.3
25年3月期	205,284	96,211	45.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期　100,582百万円　25年3月期　93,883百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
26年3月期	―	5.00			
26年3月期(予想)			―	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,000	9.5	9,500	12.3	9,500	44.6	5,800	80.5	33.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（注）詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	181,683,909株	25年3月期	181,683,909株
②　期末自己株式数	26年3月期2Q	9,885,672株	25年3月期	9,952,952株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	171,776,180株	25年3月期2Q	171,680,653株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報……P2

(1)　経営成績に関する説明……P2
(2)　財政状態に関する説明……P3
(3)　連結業績予想などの将来予測情報に関する説明……P4

2．サマリー情報（注記事項）に関する事項……P4

(1)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用……P4
(2)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示……P4

3．四半期連結財務諸表……P5

(1)　四半期連結貸借対照表……P5
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書……P7
(3)　四半期連結財務諸表に関する注記事項……P9
（継続企業の前提に関する注記）……P9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）……P9
（セグメント情報等）……P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、金融緩和等の経済政策効果もあり景気は回復過程にあるものの中国経済の下振れリスク、欧州でのソブリン危機の再燃リスク、新興国経済の低迷もあり、当社を取り巻く経営環境は、依然先行き不透明なものとなっております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比6.3%増の677億23百万円、営業利益は前年同期比1.5%増の48億50百万円、経常利益は前年同期比41.6%増の52億58百万円となりました。

四半期純利益につきましては、前年同期比57.7%増の35億4百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高			営業損益		
	前第2四半期	当第2四半期	増減	前第2四半期	当第2四半期	増減
機能製品事業	13,990	15,967	1,976	△367	△1,362	△995
化学製品事業	16,860	17,342	482	3,688	3,473	△215
樹脂製品事業	20,224	20,522	297	1,676	2,047	370
建設関連事業	5,998	6,492	493	205	128	△77
その他関連事業	6,644	7,398	753	△0	443	444
消去	－	－	－	△422	120	542
連結合計	63,718	67,723	4,005	4,780	4,850	69

①機能製品事業

機能樹脂分野では、PPS樹脂は自動車用途向けを中心に需要が拡大、ふっ化ビニリデン樹脂はリチウムイオン二次電池用バインダー用途・工業用途共に需要が回復しましたが、PGA(ポリグリコール酸)樹脂米国工場の低稼働の影響もあり、この分野の売上げは増加したものの、営業損益は前年同期の営業利益から営業損失となりました。

炭素製品分野では、特殊炭素材料は車載用リチウムイオン二次電池用負極材用途で需要は拡大しましたが、太陽光発電市場における炭素繊維での需要低迷が続いた為、この分野の売上げは微増にとどまり営業損失は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比14.1%増の159億67百万円となり、営業損失は前年同期3億67百万円から13億62百万円となりました。

②化学製品事業

医薬・農薬分野では、前年同期に計上した「クレメジン」の特許権侵害訴訟の和解金収入による売上げが減少したものの、慢性腎不全用剤「クレメジン」、農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」共に売上げが増加し、この分野では売上げ、営業利益は共に前年同期に比べ増加いたしました。

工業薬品分野では、有機薬品類の売上げが増加したことにより、この分野での売上げは増加いたしましたが、原燃料高騰の影響により、営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比2.9%増の173億42百万円となり、営業利益は前年同期比5.8%減の34億73百万円となりました。

③樹脂製品事業

コンシューマー・グッズ分野では、家庭用ラップ「NEWクレラップ」、ふっ化ビニリデン釣糸「シーガー」共に売上げが増加し、この分野では売上げ、営業利益は共に前年同期に比べ増加いたしました。

業務用食品包装材分野では、塩化ビニリデン・フィルム、多層ボトル等で国内売上げは減少いたしましたが、海外売上げはアジアで増加したことに加え、円安効果もあり、この分野の売上げ、営業利益は共に前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比1.5%増の205億22百万円となり、営業利益は前年同期比22.1%増の20億47百万円となりました。

④建設関連事業

建設事業は、震災復旧工事などの公共工事の増加があったことにより売上げは微増となりましたが、営業利益は利益率の低下により減少いたしました。

エンジニアリング事業は、プラント建設が堅調に推移し売上げは増加いたしましたが、利益率の低下により営業利益は前年同期並みとなりました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比8.2%増の64億92百万円となり、営業利益は前年同期比37.7%減の1億28百万円となりました。

⑤その他関連事業

運送事業は、売上げは前年同期並みとなりましたが、経費削減に努め営業利益は増加いたしました。

環境事業は、産業廃棄物処理及び環境関連エンジニアリング業務での大型工事の増加により、売上げが増加し、営業損益は前年同期の営業損失から営業利益となりました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比11.3%増の73億98百万円となり、営業損益は前年同期0百万円の営業損失から4億43百万円の営業利益となりました。

(2)　財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する分析

当第2四半期末の資産の部につきましては、前期末比75億18百万円増の2,128億3百万円となりました。流動資産は、棚卸資産及びその他の流動資産が増加し、現金及び預金が減少したこと等により、前期末比4億21百万円減の677億89百万円となりました。固定資産は、有形固定資産がいわき事業所での設備投資等により前期末比58億26百万円増の1,052億70百万円となったこと等により、前期末比79億39百万円増の1,450億13百万円となりました。

負債の部につきましては、前期末比10億21百万円増の1,100億95百万円となりました。これは、有利子負債が借入金の増加等により前期末比54億30百万円増の738億79百万円となり、未払金が固定資産代金の支払い等により減少し、支払手形及び買掛金が減少したこと等によります。

純資産の部につきましては、前期末比64億96百万円増の1,027億7百万円となりました。これは、四半期純利益を35億4百万円計上し、剰余金の配当を8億58百万円実施するとともに、為替換算調整勘定が増加したこと等によります。

(3)　連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、ふっ化ビニリデン樹脂などの機能製品事業の拡大、農業･園芸用殺菌剤「メトコナゾール」等のグローバル展開や全社を挙げてのコストダウンに取り組み、又、PGA(ポリグリコール酸)樹脂やリチウムイオン二次電池用負極材を次世代の重点事業と位置付け、事業の立ち上げを着実に推進しております。

2013年度の世界経済は、中国経済及び欧州経済の先行きについては引き続き不透明な状況が続いておりますが、国内経済は輸出の持ち直しや各種政策効果により景気回復が期待され、米国経済は緩やかな景気回復基調にあり、全体としては緩やかな成長が見込まれます。

当社グループでは、こうした環境の下、農薬を含む化学製品事業において期初の計画比で数量増が予想されることなどから、2013年度の通期業績予想については、2013年5月15日の公表数値を見直し、本決算短信の業績予想を上方修正しております。

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想	140,000	9,000	8,500	4,500	26円20銭
今回修正予想	143,000	9,500	9,500	5,800	33円76銭
増減額	3,000	500	1,000	1,300	―
増減率　(%)	2.1	5.6	11.8	28.9	―
前期実績	130,550	8,458	6,570	3,212	18円71銭

なお、当社グループは、「競争優位にある既存事業の強みを更に伸ばしながら、新規事業を育成・拡大すること」、「増産及び新規投資によるグローバルな成長と投資回収を図ること」を掲げた「中期経営計画 Grow Globally-Ⅱ」（以下、「中計GG-Ⅱ」という）を2012年度にスタートさせましたが、スタート後の太陽光発電市場の低迷や大型リチウムイオン二次電池市場の立ち上がりの遅れなどの事業環境の大幅な変化を反映するとともに、今後の環境変化に迅速な対応を図り、持続的な事業拡大を目指すべく、今般「中計GG-Ⅱ」を見直したローリングプランを策定し、それに基づく事業運営をスタートさせました。当社の中期的な経営の方向性に変更はありませんが、2015年度の定量計画値については変更をしております。その概要については、「中期経営計画Grow Globally-Ⅱのローリングプランの策定について」として本日(2013年11月14日)公表しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産として繰延べております。

②税金費用の計算

当連結会計年度のグループ各社の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3．四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,954	6,824
受取手形及び売掛金	27,480	27,381
商品及び製品	18,670	18,225
仕掛品	1,730	2,843
原材料及び貯蔵品	4,918	5,304
その他	5,548	7,321
貸倒引当金	△92	△111
流動資産合計	68,210	67,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,176	33,146
機械装置及び運搬具（純額）	35,680	37,630
建設仮勘定	15,681	18,486
その他（純額）	15,905	16,006
有形固定資産合計	99,444	105,270
無形固定資産	1,463	1,606
投資その他の資産		
投資有価証券	20,241	20,588
その他	16,094	17,699
貸倒引当金	△169	△151
投資その他の資産合計	36,166	38,136
固定資産合計	137,074	145,013
資産合計	205,284	212,803

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2013年3月31日）	当第2四半期連結会計期間 （2013年9月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,940	14,361
短期借入金	18,088	21,160
未払法人税等	1,899	1,660
賞与引当金	2,213	2,221
役員賞与引当金	70	39
その他	14,666	12,104
流動負債合計	52,877	51,547
固定負債		
社債	20,000	20,000
新株予約権付社債	15,000	15,000
長期借入金	15,359	17,718
退職給付引当金	556	437
役員退職慰労引当金	341	272
環境対策引当金	474	474
資産除去債務	797	802
その他	3,665	3,841
固定負債合計	56,195	58,547
負債合計	109,073	110,095
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,460	12,460
資本剰余金	10,017	10,013
利益剰余金	72,614	75,261
自己株式	△4,510	△4,479
株主資本合計	90,580	93,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,636	5,999
繰延ヘッジ損益	△32	△10
為替換算調整勘定	△2,300	1,338
その他の包括利益累計額合計	3,303	7,327
新株予約権	62	43
少数株主持分	2,264	2,081
純資産合計	96,211	102,707
負債純資産合計	205,284	212,803

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2012年4月1日 至 2012年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2013年4月1日 至 2013年9月30日）
売上高	63,718	67,723
売上原価	46,671	49,896
売上総利益	17,047	17,827
販売費及び一般管理費	12,266	12,977
営業利益	4,780	4,850
営業外収益		
受取利息	29	29
受取配当金	317	310
持分法による投資利益	133	189
為替差益	―	637
その他	145	216
営業外収益合計	626	1,384
営業外費用		
支払利息	406	363
売上割引	227	251
設備休止期間費用	550	―
為替差損	37	―
その他	471	361
営業外費用合計	1,692	976
経常利益	3,713	5,258
特別利益		
投資有価証券売却益	―	161
補助金収入	69	91
受取賠償金	96	74
その他	4	0
特別利益合計	170	328
特別損失		
固定資産除売却損	141	324
固定資産圧縮損	69	44
投資有価証券評価損	61	―
その他	31	91
特別損失合計	302	460
税金等調整前四半期純利益	3,581	5,126
法人税等	1,422	1,677
少数株主損益調整前四半期純利益	2,159	3,448
少数株主損失（△）	△63	△55
四半期純利益	2,222	3,504

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自　2012年4月1日 至　2012年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自　2013年4月1日 至　2013年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,159	3,448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,390	379
繰延ヘッジ損益	△6	21
為替換算調整勘定	350	3,301
持分法適用会社に対する持分相当額	37	371
その他の包括利益合計	△1,008	4,074
四半期包括利益	1,150	7,522
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,229	7,528
少数株主に係る四半期包括利益	△78	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自　2012年4月1日　至　2012年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	機能製品事業	化学製品事業	樹脂製品事業	建設関連事業	その他関連事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	13,990	16,860	20,224	5,998	6,644	63,718	―	63,718
セグメント間の内部売上高又は振替高	755	139	442	3,083	3,248	7,670	△7,670	―
計	14,746	16,999	20,666	9,082	9,893	71,389	△7,670	63,718
セグメント利益又は損失（△）	△367	3,688	1,676	205	△0	5,202	△422	4,780

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。
2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自　2013年4月1日　至　2013年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	機能製品事業	化学製品事業	樹脂製品事業	建設関連事業	その他関連事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	15,967	17,342	20,522	6,492	7,398	67,723	―	67,723
セグメント間の内部売上高又は振替高	848	154	961	2,426	3,265	7,657	△7,657	―
計	16,816	17,497	21,484	8,918	10,663	75,380	△7,657	67,723
セグメント利益又は損失（△）	△1,362	3,473	2,047	128	443	4,729	120	4,850

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。
2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。